

2009年9月16日

HSBCグループ、2009年第3四半期 ファンドマネジャー調査結果：エマージング株式に強気

ロンドンに本拠をおく世界有数の金融・銀行グループであるHSBCは、運用資産額で世界の大手資産運用会社13社^{注1)}を対象にアセット・アロケーションの方向性とグローバルなマネーフローを分析した、2009年第3四半期のファンドマネジャー調査の結果を発表しました。

今回の調査結果では、2009年第2四半期の同調査結果と比較してエマージング株に対して強気な見方を示したファンドマネジャーが27%から73%に増加しました。主な結果は次の通りです。

アセット・アロケーションの方向性

調査対象である世界の大手資産運用会社のファンドマネジャーは総じて株式投資に対して前期以上に楽観視していることが明らかになりました。株式をオーバーウェイトとしているファンドマネジャーの割合は、2009年第2四半期の30%から、2009年第3四半期には50%に増加しました。中でも91%のファンドマネジャーは、第3四半期のアジア太平洋（日本を除く）株式に強気であり、（2009年第2四半期は45%）、75%のファンドマネジャーは依然として中国株式を強気に見ています（2009年第2四半期も75%）。一方、64%のファンドマネジャー（2009年第2四半期は70%）は、日本株式に対して弱気の見方を維持しています。

債券に対する見方は、2009年第2四半期では20%のファンドマネジャーが債券をニュートラルとしていたのに対し、2009年第3四半期では70%のファンドマネジャーがニュートラルにシフトさせました。その一方で、債券を強気に見ているファンドマネジャーは、前期の70%からわずか30%に減少しました。

次頁に続く

2009年第3四半期の現預金に対する見方は、リスク選好が増加した結果多くのファンドマネジャーがアンダーウェイトにシフトしています（2009年第2四半期が25%であったのに対し57%）。安全資産への逃避として現預金を引き続きオーバーウェイトしていたファンドマネジャーは皆無でした（2009年第2四半期は25%）。

HSBCグループ香港上海銀行個人金融サービス本部本部長兼マネージングダイレクターのゴッドフリー・スウェインは、「特にアジア太平洋とエマージング市場における景気回復の兆しに伴って、投資家が成長の機会を積極的に追い求め、投資家心理が改善し、市場パフォーマンスも好転しました。過去数ヶ月間、中国圏の株式市場が目覚ましいパフォーマンスを示し、景気に関しては好ましい兆候が見受けられるため、投資家は依然として中国株式を強気に見ています。」と総括しました。

グローバルなマネーフローの分析

今回の調査では、世界大手の資産運用会社13社について、運用資産残高、アセット・アロケーション戦略、世界的なマネーフローを分析しました。推定ネット・マネーフロー^{注2)}は、運用資産残高の変動と、対応する指数の変動を比較して算出しました。2009年第2四半期末現在、調査対象運用会社の運用資産残高は計3.1兆米ドルで、世界全体の推定運用資産残高^{注3)}の約15.2%に相当します。

2009年第2四半期末現在、資産運用会社13社の運用資産残高は、2009年第1四半期末比で3,150億米ドル（11.4%）増加したことがうかがえます。株式ファンドの運用資産残高は前期に850億米ドル減少しましたが、2009年第2四半期には2,060億米ドル増加し、それが同四半期に運用資産全体が増加した主因となりました。2009年第2四半期にはマネー・マーケット・ファンドを除く他のすべてのファンドも、運用資産残高が増加しました。

下記の表は、各資産別に2009年第1四半期中の運用資産残高の増加額から各市場の増加額を差し引いて算出したネット・ファンドフローを示したものです。

セクター別、運用資産残高のネット・フロー (%)

資産タイプ	2009年第2四半期末	2009年第1四半期末
エマージング株式	+15.5%	-1.6%
アジア太平洋（日本を除く）株式	+11.2%	-0.7%
中国株式	+7.0%	+5.2%
日本株式	-10.5%	-4.8%
米国株式	-4.3%	-0.1%
欧州（英国を含む）株式	-4.3%	+1.2%
グローバル債券	+9.8%	-5.5%
ハイイールド/エマージング債券	+8.5%	-5.4%
米国債券	-1.8%	+1.7%

2009年第2四半期には、エマージング株式、アジア太平洋（日本を除く）株式、及び中国株式に、資金が流入しました。これは、これらの地域の景気回復と成長見通しに対する信頼感が改めて高まったことを示しています。他方、先進国市場に対する投資家のリスク許容度が低減し、米国株式と欧州（英国を含む）株式から資金が流出しました。

スウェインは、次のような見解を示しています。「エマージング市場、アジア太平洋（日本を除く）、及び中国本土にバイアスをかけている株式ファンドへの資金流入の増加と、そうしたファンドへの回帰が示しているように、2009年第2四半期には投資家が自信を深めたようです。しかし、世界経済な成長の見通しについては、未だ不透明な部分もあり、また株式市場も不安定なことから、投資家は引き続き資産の一部を債券に投資することで原資の確保を図っています。」

過去12四半期をカバーするマネーフローのドル建ての累計額を示す「HSBCファンドフロー・トラッカー」によれば、2009年第1四半期から2009年第2四半期にかけて株式ファンドにネットで資金が流入しています。このネットの資金流入額は、2007年第1四半期および2007年第4四半期に記録した高水準まで回復しました。

次頁に続く

注記:

1:調査協力資産運用会社 13社は以下のとおりです。

アライアンス・バーンスタイン、アリアンツ・グローバル・インベスターズ、ベアリング・アセット・マネジメント、ブラックロック、フィデリティ・インベストメント・マネジメント、フランクリン・テンプルトン・インベストメンツ、HSBCグローバル・アセット・マネジメント、インベスコ・アセット・マネジメント、インベステック・アセット・マネジメント、JPモルガン・アセット・マネジメント、プルデンシャル・アセット・マネジメント、シュローダー・インベストメント・マネジメント、ソシエテジェネラル

2: ネット・ファンドフローは、2009年第2四半期における運用資産の増加額から市場の増加額を差し引いて求めました。

3: インベストメント・カンパニー・インスティテュートによると 2009年第1四半期末現在の世界の運用資産総額は 18.15 兆米ドルです。

HSBC グループ

HSBC グループの持株会社である HSBC ホールディングス plc は英国に本部を置いています。HSBC グループは世界で 1 億の顧客に対してサービスを提供しております。HSBC グループは、ヨーロッパ、アジア太平洋地域、アメリカ大陸、中東、アフリカにまたがる 86 の国と地域に 8,500 を超える拠点を擁し、2009 年 6 月末現在 2 兆 4,220 億米ドルの総資産を持つ世界有数の金融グループです。

日本における香港上海銀行

HSBC グループの母体行である香港上海銀行(本店・香港)は、日本で 140 年以上営業を続けており、事実上、日本で最も長い歴史を持つ銀行です。現在、東京と大阪に支店を展開しています。法人向けの金融業務、プライベートバンク業務や HSBC プレミアなどの個人向け金融業務を提供しています。

HSBC プレミア

HSBC グループの個人向け金融業務で、成長が著しいマス富裕層にグローバルな個人向けウェルス・マネジメント・サービスを提供しています。2000 年にサービスを開始し、2007 年 5 月には、サービス内容などを一新したインターナショナル・サービスを開始しました。すでに、世界の 43 の国と地域で 300 以上の HSBC プレミアセンター（店舗）が設置されており、260 万人以上の顧客にサービスを提供しています。世界中どこにいても自国にいるような感覚で利用できる銀行サービスであり、日本では、お預り資産残高が 1,000 万円以上のマス富裕層のお客様のための専門銀行サービスとして、クオリティーの高い個人向けウェルス・マネジメント・サービスを提供します。日本では、2008 年 1 月にサービスを開始しました。これまでに丸の内、銀座、赤坂、広尾、池袋、横浜、神戸に HSBC プレミアセンターが開設されており、日本全国の HSBC プレミアセンターの支店網は 7 店舗です。

以上

HSBCファンドマネジャー調査: グローバル・マネーフロー追跡

2009年9月16日



調査目的

- グローバルなマネーフローを分析する
- グローバルなアセットアロケーションの実態を把握する
- ファンドマネジャーの市況観を理解する
- ファンドマネジャー自身に調査に協力してもらうことにより、タイムラグのない、生きた情報を得る
- 顧客がグローバルな観点から現在の投資環境について理解を深める一助となる

調査方法

- 本四半期ベース調査には、世界全体の推定運用資産残高(注1)の約15.2%を担当する以下の大手資産運用会社が協力: アライアンス・バーンスタイン、アリアンツ・グローバル・インベスターズ、ベアリング・アセット・マネジメント、ブラックロック、フィデリティ・インベストメント・マネジメント、フランクリン・テンプルトン・インベストメンツ、HSBCグローバル・アセット・マネジメント、インベスコ・アセット・マネジメント、インベステック・アセット・マネジメント、JPモルガン・アセット・マネジメント、プルデンシャル・アセット・マネジメント、シュローダー・インベストメント・マネージメント、ソシエテ ジェネラル
- 本調査では、調査への協力運用会社の2009年第1四半期末および第2四半期末(注2)における運用資産残高の内訳の分析を行った。
- 本調査では、ファンドマネジャーの2009年第3四半期の市況感(資産タイプ別、地域別など)についても情報を収集。

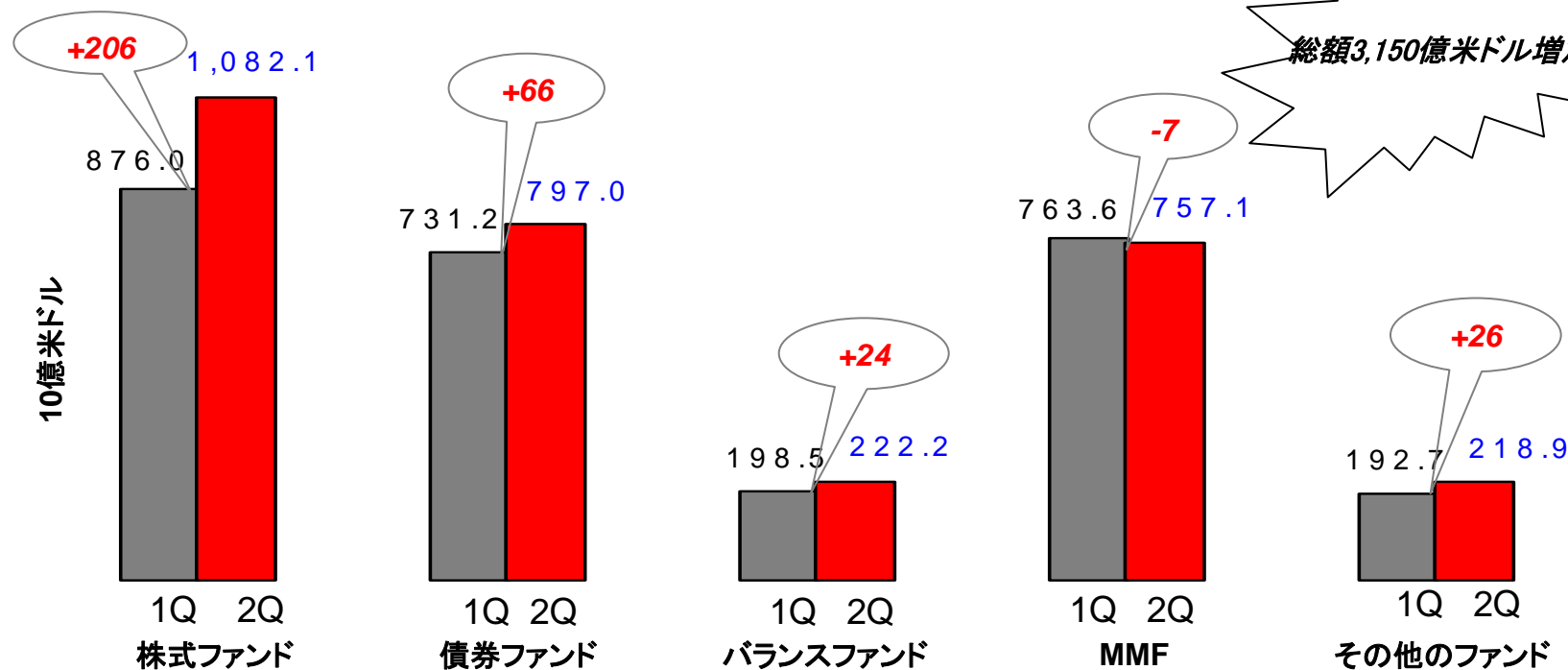
1. 2009年第1四半期末における運用資産残高の総額は18.15兆米ドル(インベストメント・カンパニー・インスティテュート)。
2. 2009年第2四半期のデータは、2009年6月30日現在。



2009年第2四半期の運用資産

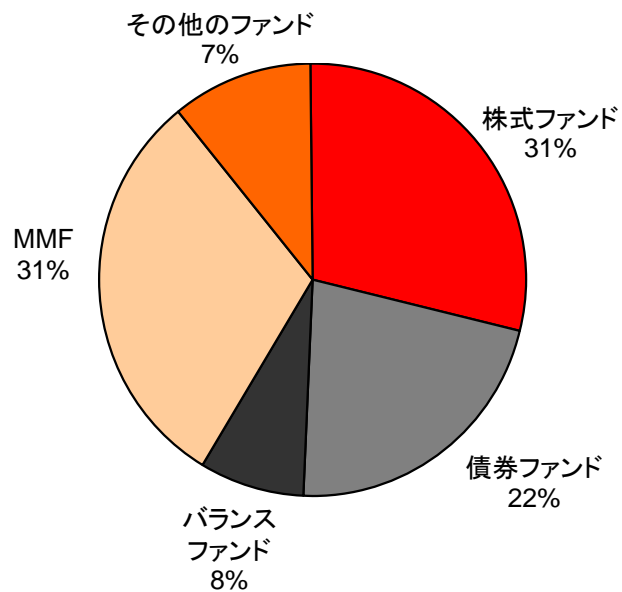
- 本調査に協力したファンドマネジャーの運用資産残高の総額は2009年第2四半期末現在で3.1兆米ドル。調査では、2009年第1四半期から第2四半期にかけて、運用資産残高は3,150億米ドル、11.4%相当増加したと推定。

2009年第1四半期末、第2四半期末運用資産残高(10億米ドル)

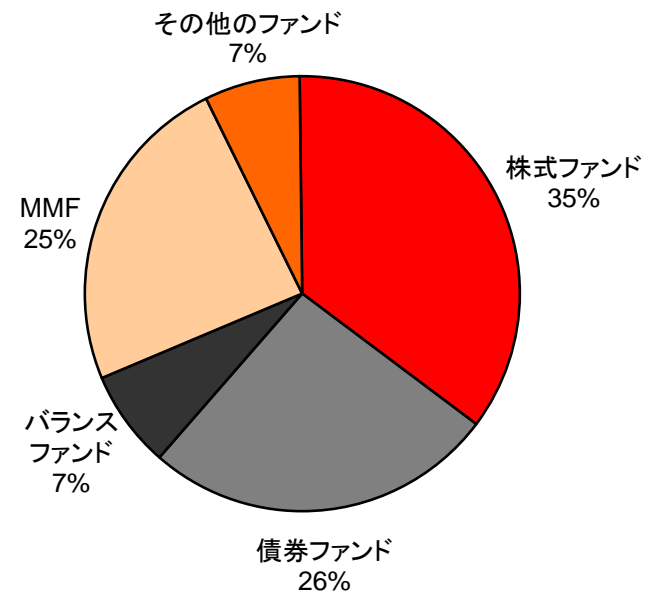


運用資産の内訳

2009年第1四半期
資産タイプ別の運用資産残高内訳



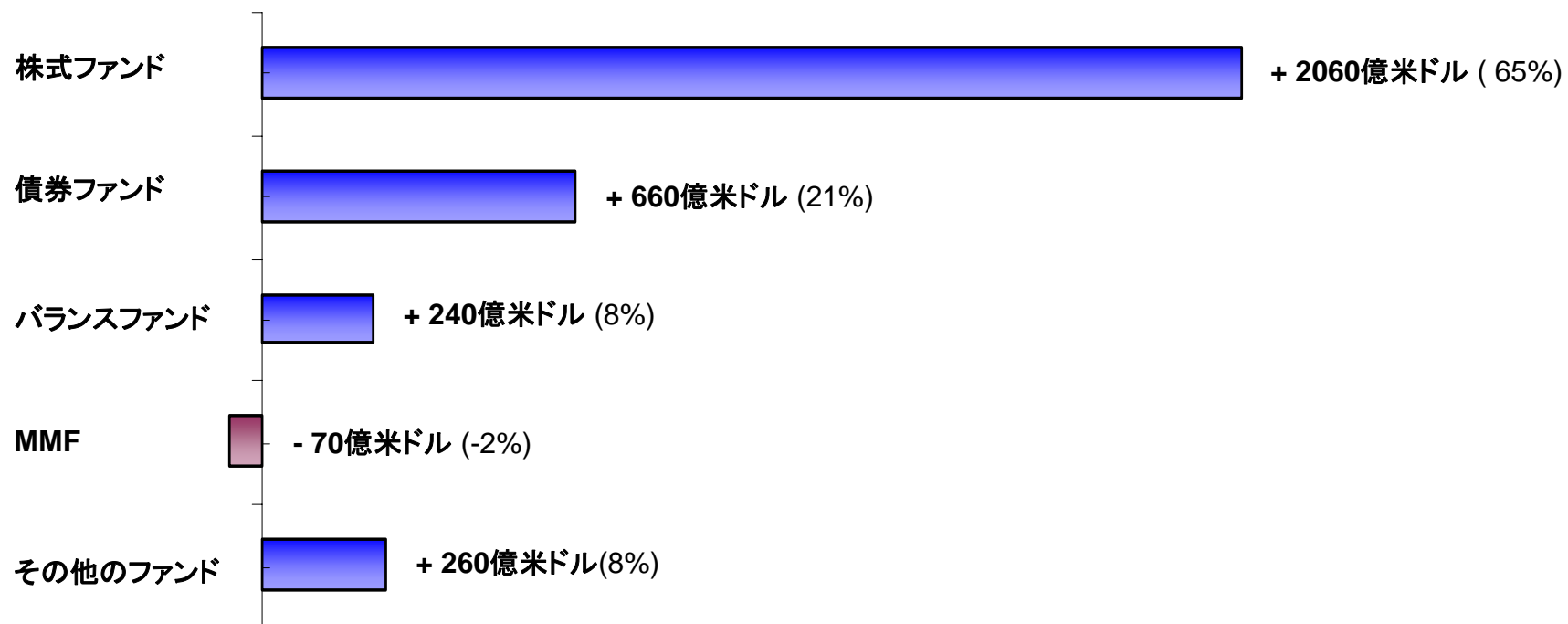
2009年第2四半期
資産タイプ別の運用資産残高内訳



(注) 端数調整により合計が100%にならない場合がある。

運用資産総残高の増減への影響度(資産タイプ別)

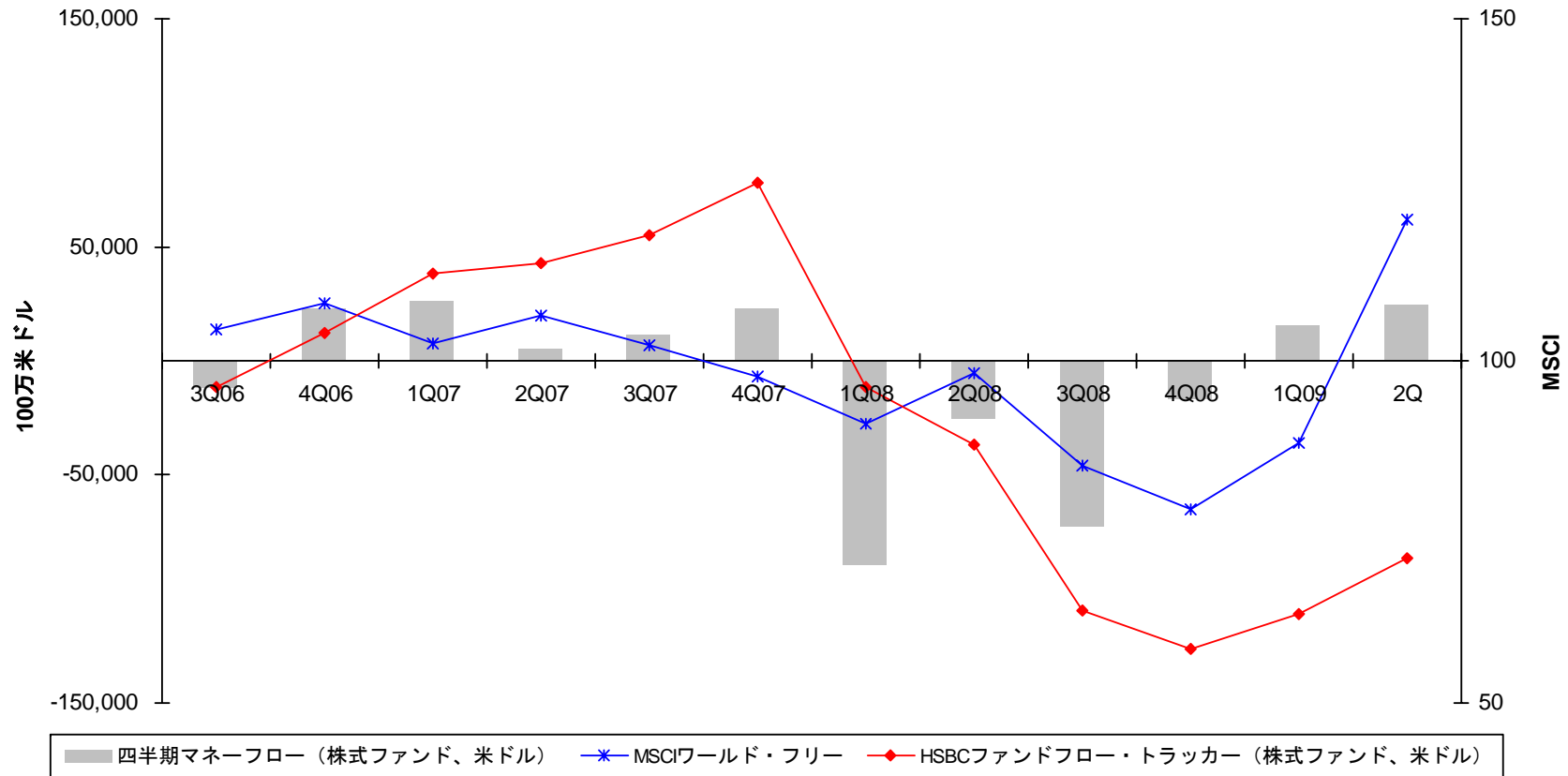
- 2009年第2四半期の運用資産残高の増加の大半が、株式ファンドに起因する。



(注) 端数調整により合計が100%にならない場合がある。

HSBC ファンドフロー・トラッカー 株式ファンド

- 投資家心理の改善と景気回復の兆しを背景に、株式ファンドへ資金流入が続いた。

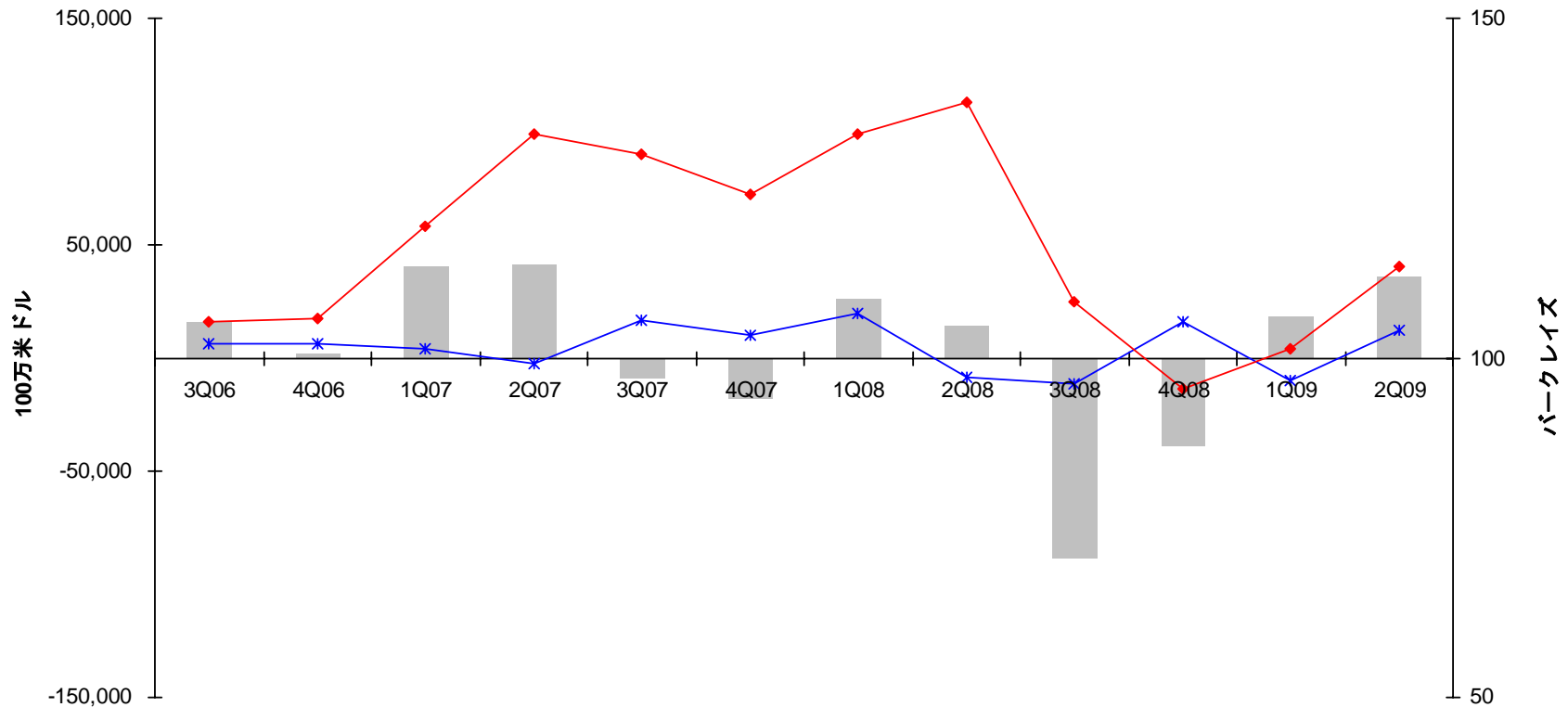


(注) HSBCファンドフロー・トラッカーはHSBCファンドマネジャー調査で報告された四半期ベースのマネーフローのドル建ての累計額を示す。



HSBC ファンドフロー・トラッカー 債券ファンド

- 世界的な不況が続く中、投資家が安全な投資先を求めたことで、債券ファンドへの資金流入が見られた。



■ 四半期マネーフロー (債券ファンド、米ドル) * パークレイズ・キャピタル・グローバル・ボンド指数 ◆ HSBCファンドフロー・トラッカー (債券ファンド、米ドル)

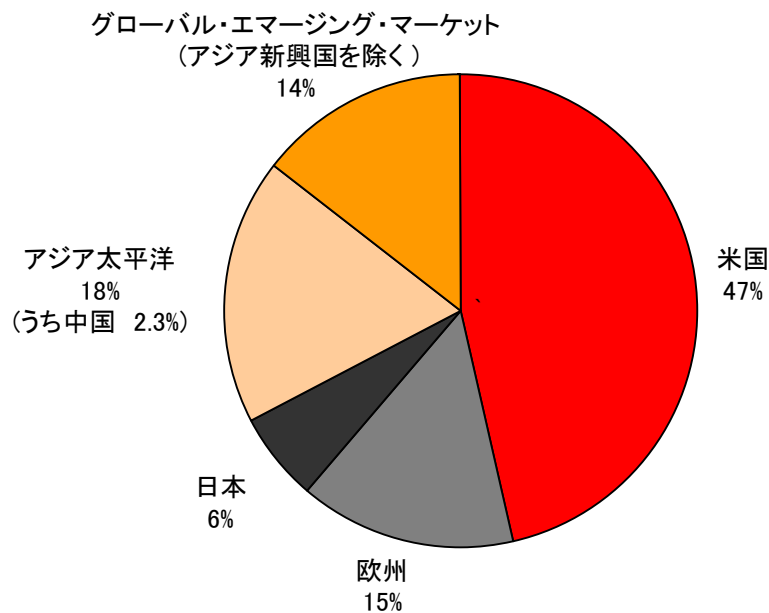
(注) HSBCファンドフロー・トラッカーはHSBC ファンドマネジャー調査で報告された四半期ベースのマネーフローのドル建ての累計額を示す。



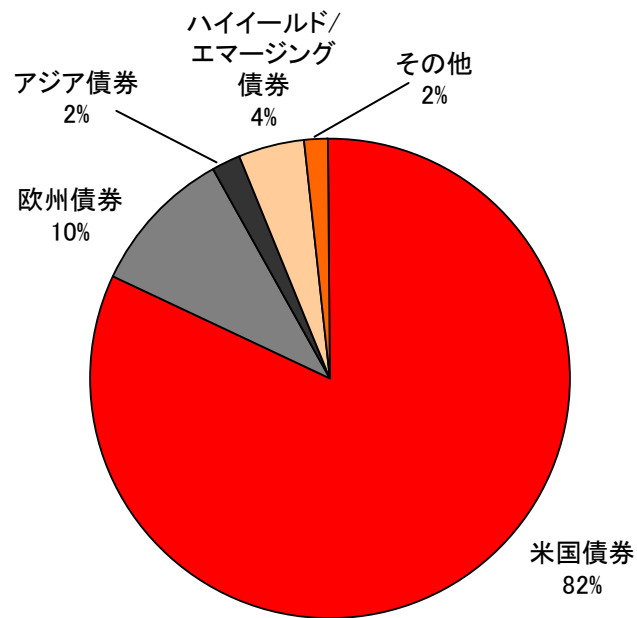
運用先の地域別内訳

- 2009年第2四半期の株式、債券の主要な投資先は、依然として米国であり、アジア太平洋がそれに続いている。

地域別株式ファンド

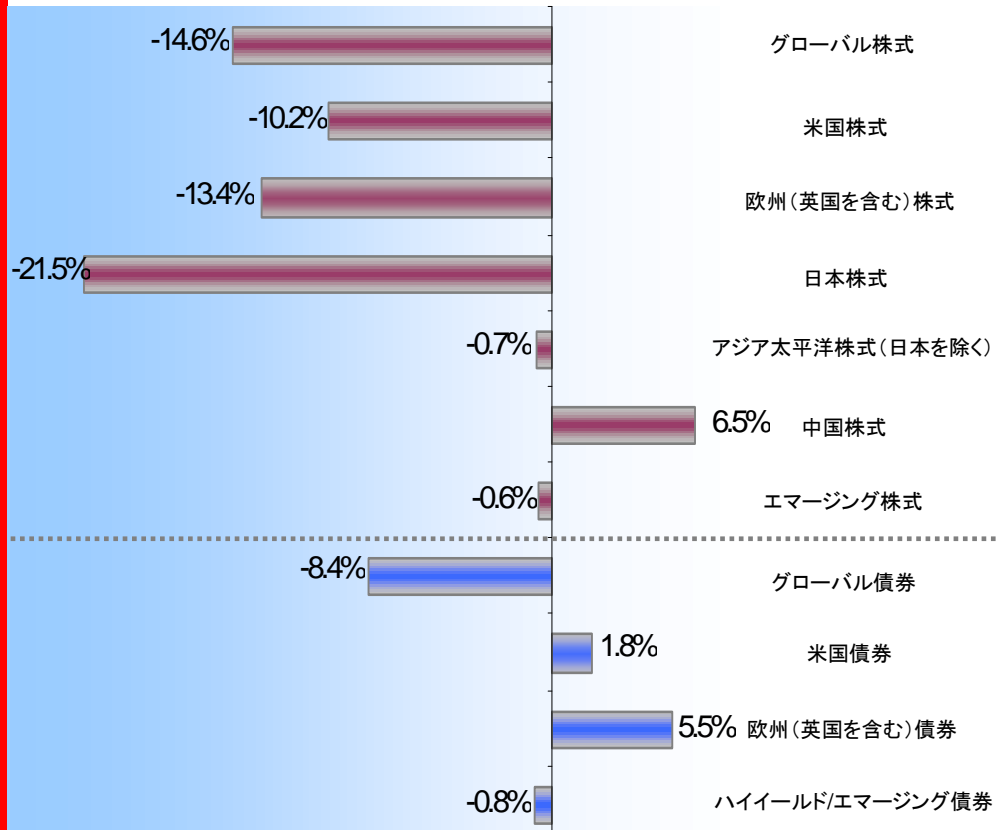


地域別債券ファンド

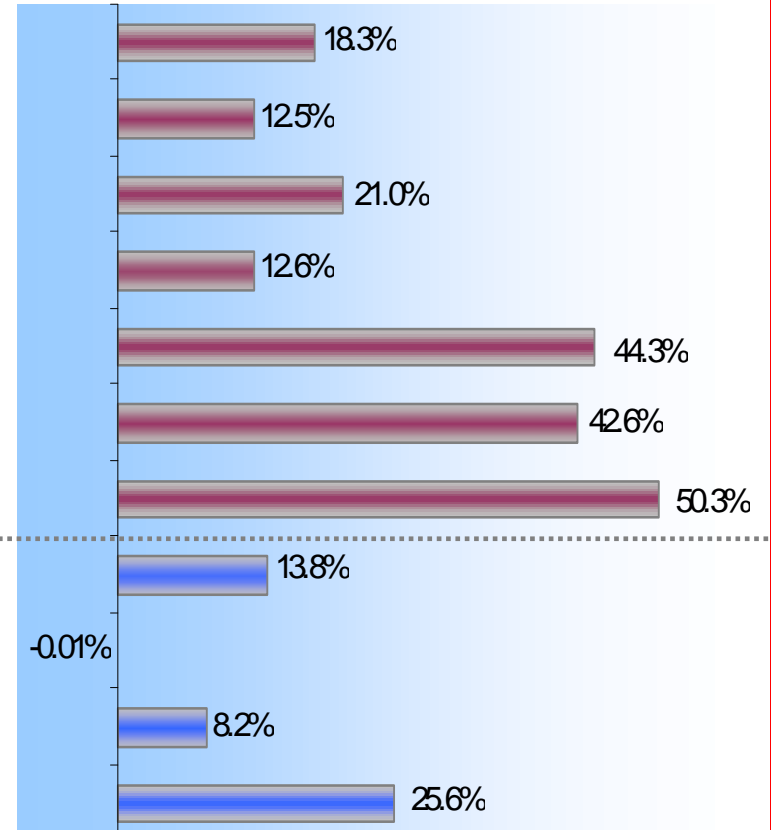


運用資産残高の推移

2009年第1四半期 運用資産残高増加/減少



2009年第2四半期 運用資産増加/減少



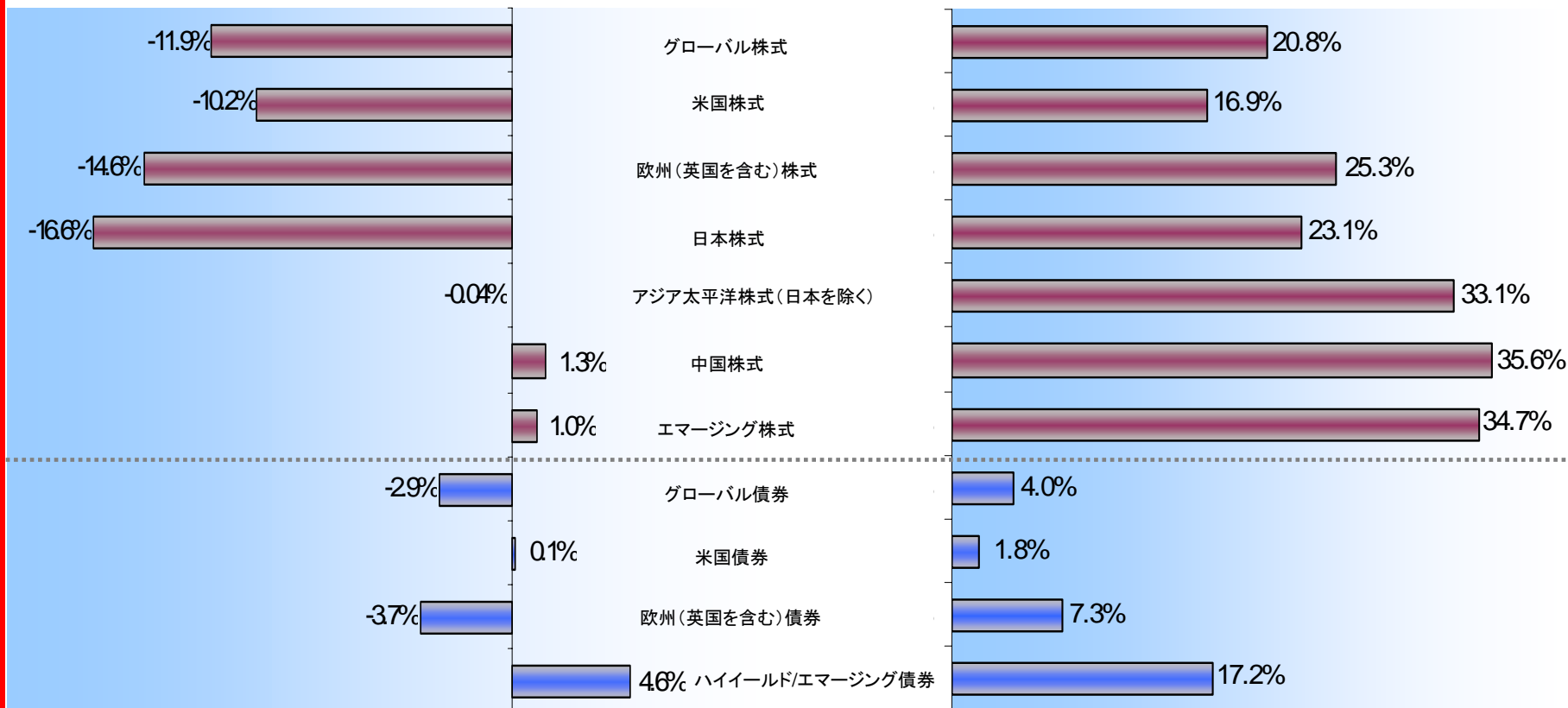
株式ファンド
 債券ファンド

HSBC 
 The world's local bank

2009年第1四半期、第2四半期 市場パフォーマンス

2009年第1四半期マーケット・パフォーマンス

2009年第2四半期マーケット・パフォーマンス



■ 株式ファンド
■ 債券ファンド

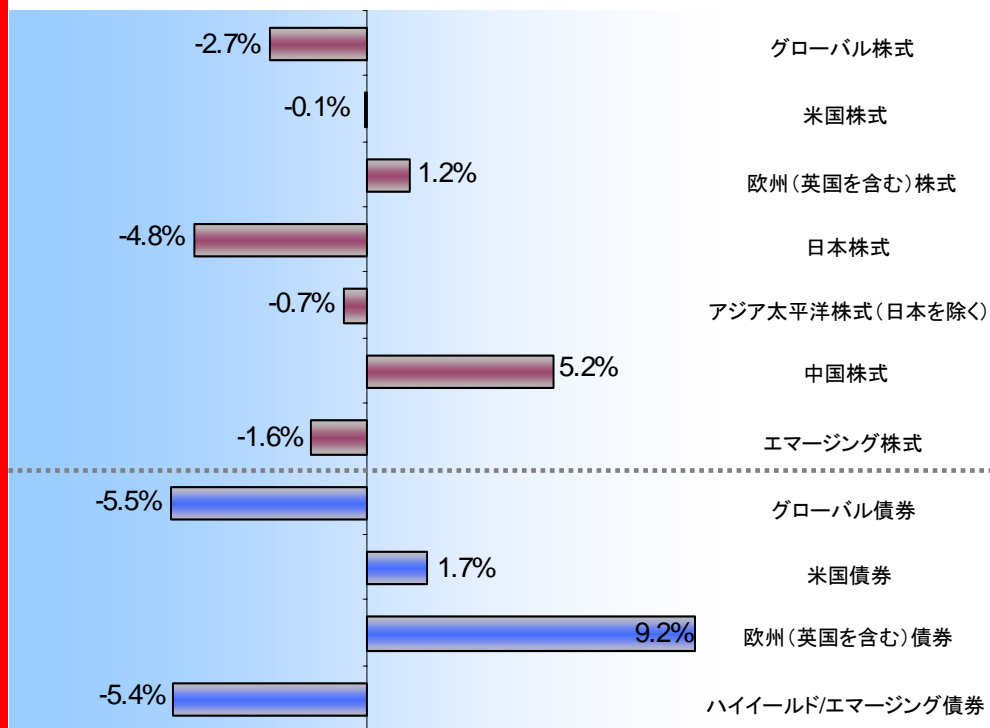
HSBC 
 The world's local bank

出典:ブルームバーグ、モーニングスター

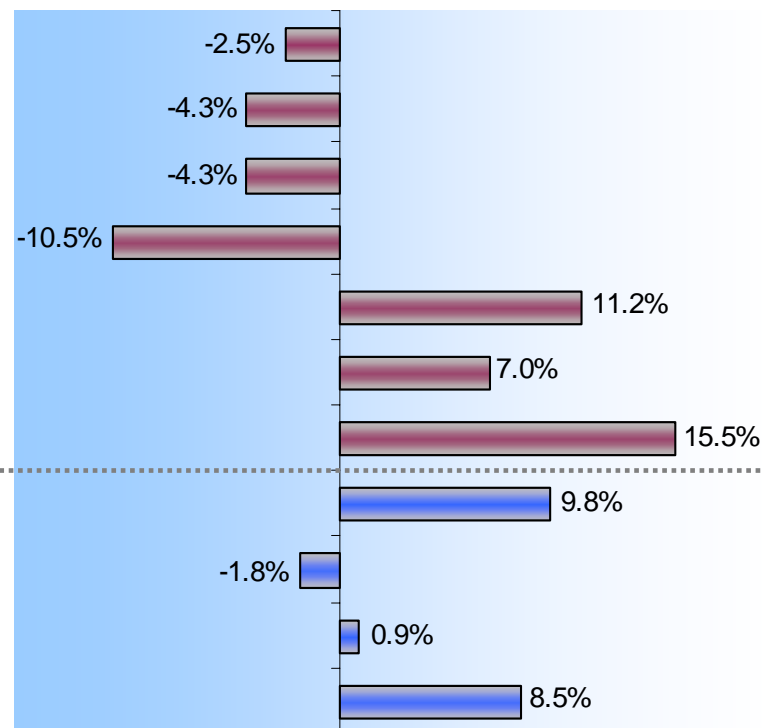
運用資金の流出入

- 株式において、新興国の株式ファンドに資金が流入した一方で、先進国の株式ファンドには資金の流出が見られた。
- 経済の見通しが不透明な中、債券ファンドは(米国を除いて)資金が流入した。

2009年第1四半期推定ネット・ファンドフロー



2009年第2四半期推定ネット・ファンドフロー



■ 株式ファンド
■ 債券ファンド



出典:HSBC調査。ネット・ファンドフローは、この期間の運用資産の増加額から市場の増加額を差し引いて算出。

2009年第3四半期タイプ別アセット・アロケーション戦略

- 投資心理の改善と景気回復の兆しを背景に、株式に対し楽観的な見方をするファンドマネジャーが増加している。
- リスク許容度が徐々に回復するにつれ、債券に対する見方をニュートラルにシフトするファンドマネジャーが増加している。現預金をオーバーウェイトに維持しているファンドマネジャーが皆無であることが注目される。

資産別アセット・アロケーション戦略	アンダーウェイト	ニュートラル	オーバーウェイト
株式	20% (40%)	30% (30%)	50% (30%)
債券	0% (10%)	70% (20%)	30% (70%)
現預金	57% (25%)	43% (50%)	0% (25%)

注:

- ()内の数字は前四半期(2009年第2四半期)の調査結果を示す。
- オーバーウェイト: 一般に受け入れられているベンチマークより強い投資ポジション。当該資産タイプの見通しに、より楽観的・強気であることを示す。
- アンダーウェイト: 一般に受け入れられているベンチマークより弱い投資ポジション。当該資産タイプの見通しに、より悲観的・弱気であることを示す。
- ニュートラル: 一般に受け入れられているベンチマークと同じ投資ポジション。当該資産タイプの見通しと別段異なる見方をしていないことを示す。
- 端数調整により合計が100%にならない場合がある。

2009年第3四半期地域別アセット・アロケーション戦略

- 株式に関して、相対的に早い景気回復が予想され、成長を見込まれ、日本を除くアジア太平洋市場、及びエマージング・マーケットを選好するファンドマネジャーが増加している。
- 債券に関しては、ファンドマネジャーは概ねニュートラルな見方を維持しているが、欧州中央銀行(ECB)による金融緩和サイクルが終了するとの見方があり、欧州債券に対する強気な見方は後退している。

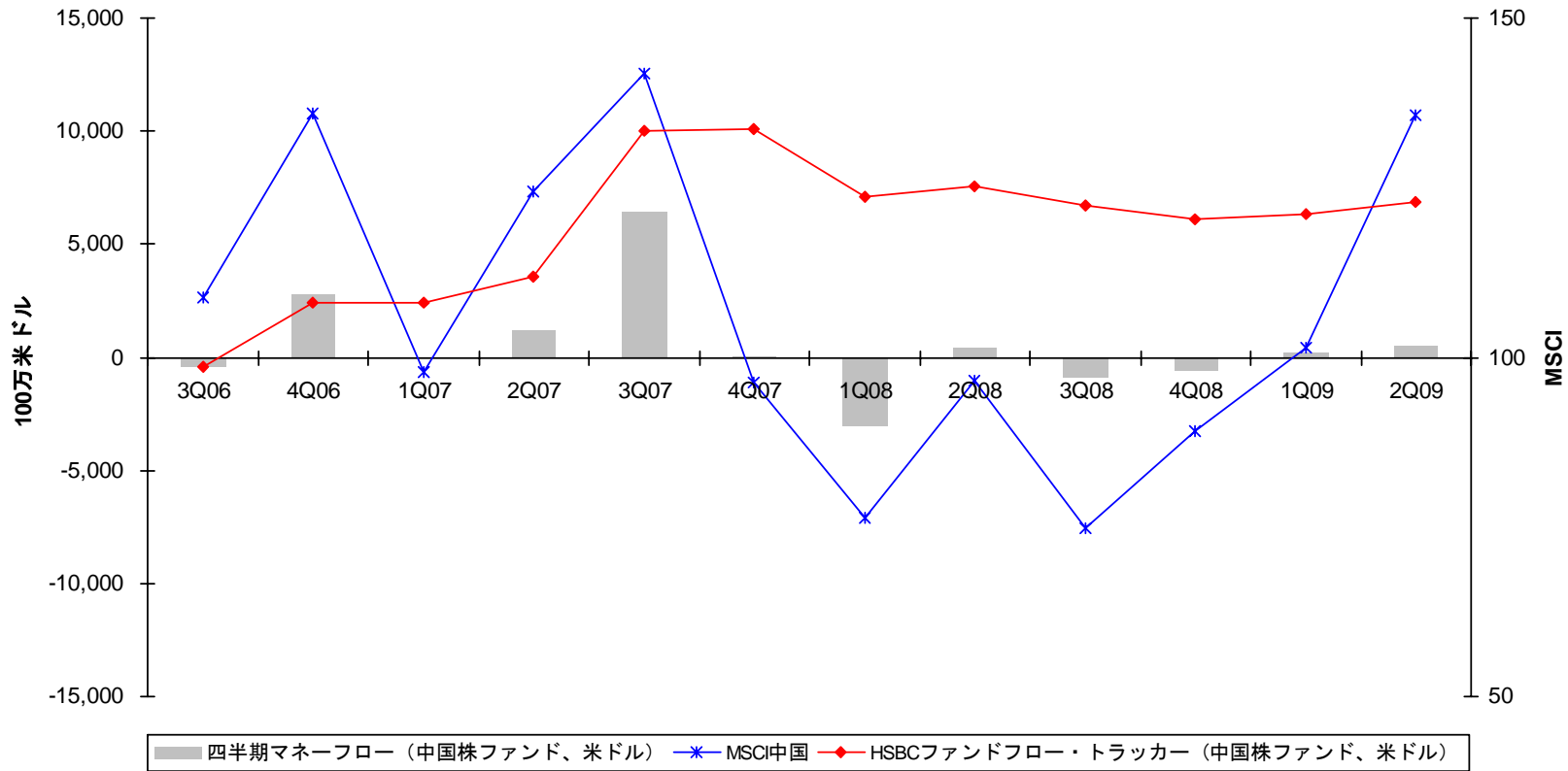
地域別 アセット・アロケーション戦略	アンダーウェイト		ニュートラル		オーバーウェイト	
	3Q09	2Q09	3Q09	2Q09	3Q09	2Q09
株式						
米国	36%	27%	45%	45%	18%	27%
欧州(英国を含む)	55%	36%	36%	36%	9%	27%
日本	64%	70%	27%	20%	9%	10%
アジア太平洋(日本を除く)	0%	27%	9%	27%	91%	45%
エマージング・マーケット	9%	36%	18%	36%	73%	27%
中国	0%	0%	25%	25%	75%	75%
債券						
米国	11%	11%	44%	44%	44%	44%
欧州	13%	0%	50%	44%	38%	56%
ハイイールド/グローバル・エマージング・マーケット	14%	22%	43%	33%	43%	44%
アジア	25%	25%	25%	38%	50%	38%

(注)端数調整により合計が100%にならない場合がある。



HSBC ファンドフロー・トラッカー - 中国株ファンド

- 安定した資金流入が、ファンドマネジャーの強気な見方を下支えしている。



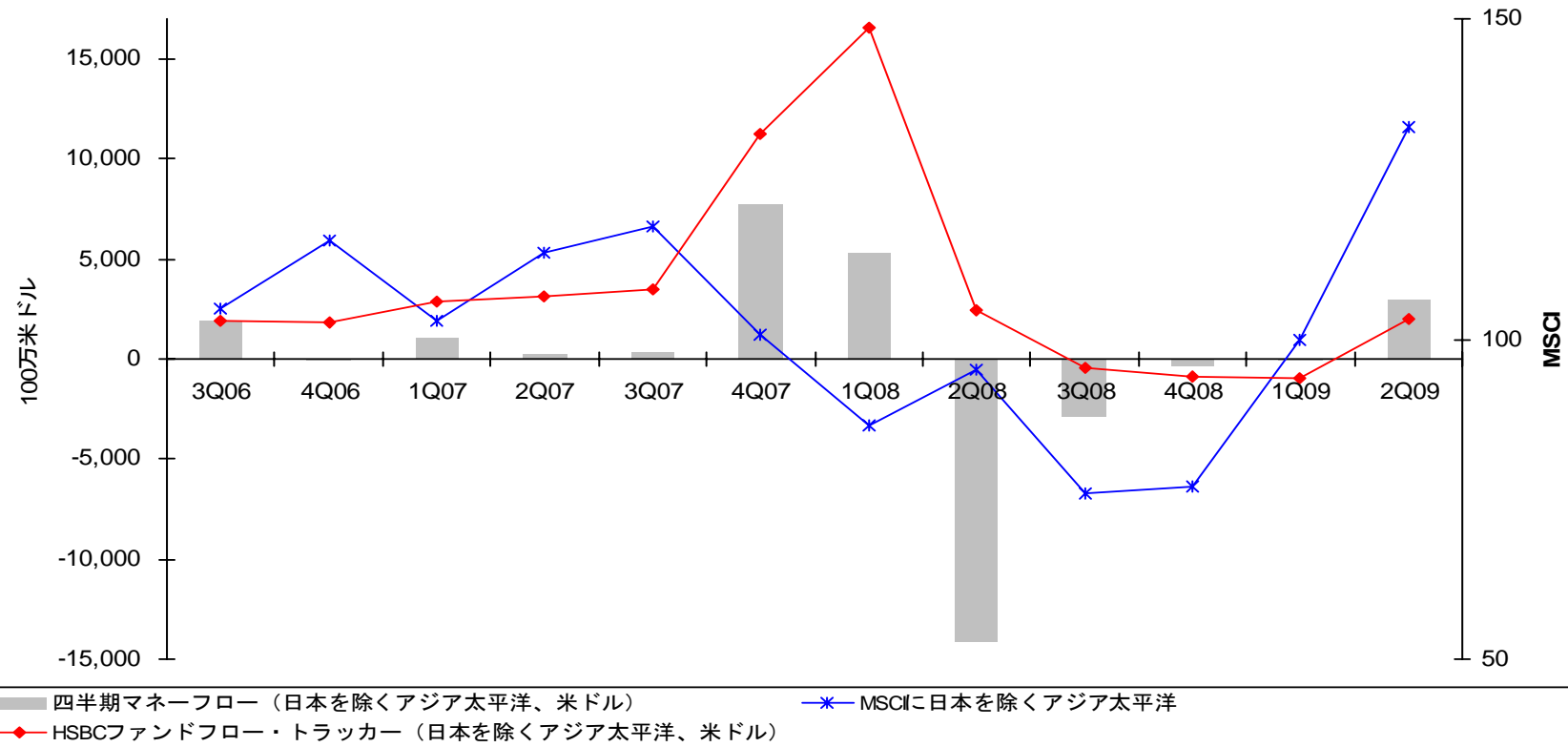
(注) HSBCファンドフロー・トラッカーはHSBCファンドマネジャー調査で報告された、四半期ベースのマネーフローのドル建ての累計額。



HSBC ファンドフロー・トラッカー

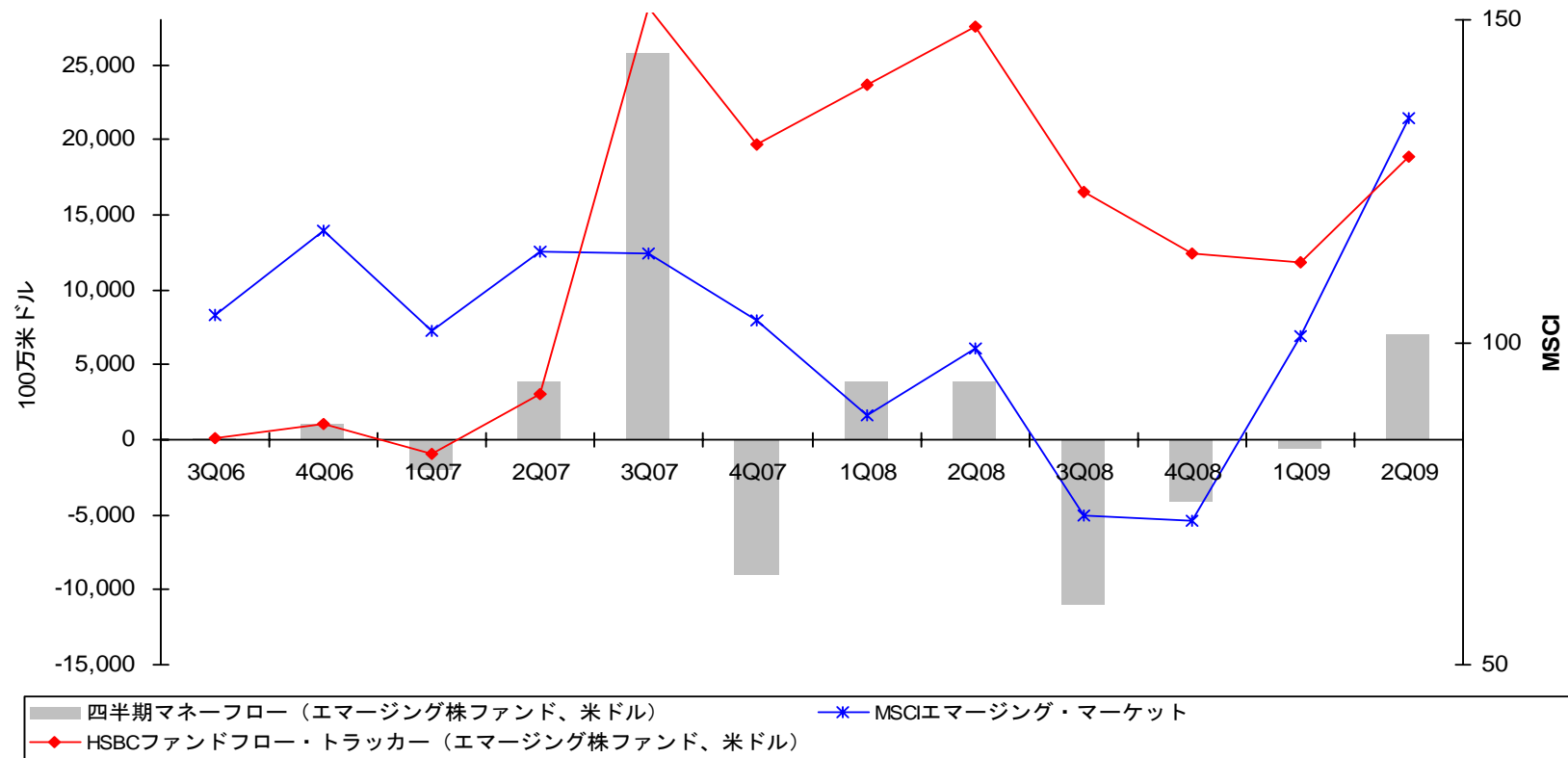
- アジア太平洋株ファンド(日本を除く)

- 相対的にアジア経済の回復力が強く、アジア太平洋株ファンド(日本を除く)に資金が流入している。



HSBC ファンドフロー・トラッカー - エマージング・マーケット株ファンド

- 多額の資金流入は、エマージング・マーケットに対するファンドマネジャーの強気な見方と一致している。



調査ハイライト

- 2009年第1四半期から2009年第2四半期までのファンドフロー

- 2009年第2四半期にエマージング株ファンド、アジア太平洋株ファンド(日本を除く)、中国株ファンドにネットで資金が流入したことは、これらの地域の景気回復と成長見通しに対する信頼感が改めて高まったことのあらわれ。
- 米国株ファンドと欧州株ファンドから、ネットで資金が流出した。
- グローバル債券とハイイールド/エマージング債券にはネットで資金が流入した反面、米国債券からは流出した。

- 2009年第3四半期に対するファンドマネジャーの見方

- 半数のファンドマネジャーは株式に対してオーバーウェイトを維持、7割が債券をニュートラルとし、現預金をオーバーウェイトにしているファンドマネジャーはいない。
- 株式ファンドでは9割がアジア太平洋株式(日本を除く)を強気に見ており、7割がエマージング株式と中国圏株式をオーバーウェイトに据え置いている。

免責条項

本調査で得られた情報は第三者により提供されたものであり、当行は独自に検証作業を行っておりません。当行は情報の正確性、完全性につき如何なる保証、表明をするものではなく、明示または黙示を問わず、本調査の商品性や特定目的への適合性を含め、一切の保証を行うものではありません。本調査の情報および表明された意見は金融商品の購入や売却を勧誘するものではありません。万一、投資家の皆様が、この調査の情報に基づいて被ったいかなる損害につきましても、当行は一切責任を負うものではありません。

出典

11ページのスライドはブルームバーグとモーニングスターの提供によるが、それ以外はすべてHSBC ファンドマネジャー調査からの引用。